

第1号議案 I. 平成25年度事業活動報告

1. 事業の成果

(1) NPO法人は、設立から5年を経過し6年目を迎えました。5周年を祝う会を催しました。

住吉川の清掃から始め、ゲンジホテルの再生・復元を実現し、地域の資源を活用した仕組みを考えることは、それが特徴的な成長ポンプとなり、まちの活性化が出来るのではないかと考えてきました。まちの活性化や地域資源を活用した仕組みを提案するには、成果を挙げることが説得力になります。

ホテルの幻想的な光の乱舞を見て心を動かすことが、まちの誘発力となり、それを発信して、情報としてどのように提供するかの仕組みを構築することが、今求められていると思います。

本年も「ホテル観賞の夕べ」を開催し、多くの来訪者をお迎えしようと思います。

3月22日午後、煉瓦館レストラン「プードル」にて、ヴァイオリニスト菊本恭子さんの演奏会と昼食会には、30名のご参加者で、和やかで、家族的な雰囲気で開催することができました。

(2) 水辺の遊び場づくりに向けての取り組み

佐野川水系住吉川の整備計画の変更の住民説明会(大阪府岸和田土木事務所主催)が、2月13日煉瓦館にて開催されました。

説明によると、「人命を守ることを最優先とする」を基本理念とし、

(1)河川の氾濫・浸水の危険性の理解促進(2)「逃げる」「凌ぐ」施策の強化(3)概ね10年で実現可能な対策を提示するというものです。

具体的には、煉瓦館の前の歴史公園の地下に遊水地を設ける。煉瓦館の住吉川に親水公園を予定することなどが示されました。長年の要望が適えられたとの思いであります。

(3) まちづくりトークカフェの開催

住民との協働でまちづくりを実現するため、課題や目標を模索し、必要なテーマを掲げ、議論して、住民の「気づき・学び・交流」から優先順位を見つけ、目標を探ろうと続けています。しかし、参加者募集の手立てや伝えるコツなど工夫しなければならないことを痛感しています。折角の講演をして頂く方々への配慮や参加者の少なさに苛まれています。

今後は「ホテル」をテーマを絞り込み、ホテルの魅力や感動という「誘発力」を上手く編集して、伝えて行くことに選択と集中をしようと考えています。

折しも熊取町もシテイプロモーション課が新設され、地域の魅力を効果的に訴求させるためには、ホテルも資源として活用されるであろうと思っています。

(4) 河川のゴミ清掃活動

住吉川や和田川の河原のゴミ清掃活動を始めて6年目です。

5月26日(日)住吉川向田橋の公園前に23名(紺屋区青年団8名他)が集合し、

住吉川の向田橋から万福橋までゴミ収集を行いました。可燃ごみ710kg、

粗大ごみ240kg合計950kgを回収しました。

10月20日(日)和田川クリーンアップは降雨のため順延し、11月17日(日)に実施しました。

事前に和田地区水利組合などに協力要請のチラシを配布し、住民の方からの参加もありましたが、地元の自治会や水利組合の協力を得ることができませんでした。

地元の自治会の行事と重なったことも原因の一つで、事前調整の必要性を痛感しました。

可燃ごみ770kg、粗大ごみ330kg合計1100kgを回収しました。河床と堤体と高さもあり、

ゴミを引き上げるのに人数も少なく苦勞しました。参加者は14名でした。

参加者が少なく予定の祇園橋まで行けず、初めての清掃で竹の繁殖が多く、前に進めない状況とが重なりましたが、回収したゴミの多さに驚くと共にカワニナの繁殖地として整備すれば良い環境であることも判りました。

(5) 住吉川の水質浄化の活動

住吉川にかき殻と土壌改質培養土FFCエースを投入して水質浄化の社会実験をしています。毎年4回の熊取町の向田橋の**水質BOD(生物化学的酸素要求量)**は、次の表の通りです。

向田橋	23年度	24年度	25年度
5月	2.0	4.3	4.3
8月	2.4	2.2	2.7
11月	2.2	1.4	2.8
2月	3.3	2.8	3.4
平均	2.5	2.7	3.3

(年度とは、4月から翌年3月)

(BOD値、単位:mg/l)

環境基準値として、10mg/l以下が望ましい。

(熊取町住民部環境課公表)

(6) ホタル観賞の夕べの開催

6月9日(日)午後7時煉瓦館からエレクトーン演奏の「星にねがいを！」の調べが聴こえてきます。通路や入口には孟宗竹で作ったランタンに火が灯り幻想的な雰囲気です。当日参加者は28名。6月8日(土)～16日(日)の8日間和田川のホタル観賞の夕べを午後7時～9時まで開催し、多くの住民に楽しんでいただくことができました。エレクトーン演奏者は松本裕樹氏でした。

(7) 会報『カッパだより』の発行

NPOの活動を住民のみなさんに判り易く、理解を得るため、年3回発刊、タブロイド版2ページで、PR活動に注力しています。毎回、2,000部を、第10号より増刊しています。図書館、煉瓦館、駅下にぎわい館、熊取町役場などに配布と掲示を行い各戸配布もしています。次号の第18号の発行は、9月で順次来年1月、5月の各1日発刊です。

(8) 会員の拡大とホタル環境基金への寄付の募金に向けて

個人正会員のみならず、個人の協力会員を拡大することに注力しています。未だ目標の人数に達していませんが、今後より一層の努力を続けてまいります。今年度から新たなホタル環境基金への募金を始めますので、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

(9) 阪南市のNPO法人ホタル燦燦会との協働事業を引き続いて行います。

山中溪の山中川のゲンジボタルの再生・復元活動を続けているNPO法人ホタル燦燦会と事業提携し、自然環境の再生・復元を協力して取り組んでいます。大阪市福島区のザ・タワー大阪管理組合との裁判訴訟まで発展しましたが、理解が得られずビオトープ計画は頓挫しました。しかし「都会のすきまにビオトープを！」というテーマは引き続いて行いたいと考えています。

(10) 助成金の申請と選考結果について

- ① 河川環境管理財団 新設市民団体運営支援助成に継続し応募していましたが、5年が経過し、成果報告を提出して終了しました。
プロジェクト名:『河川を中心とする水辺環境づくりを担う人材育成と地域への展開・実践』
プロジェクトリーダー: 杉野 隆一
選考結果: 50万円の助成の決定通知。毎年50万円宛/継続して5年間/250万円
～住吉川「バンドウ塾」の開設・運営を通じて～
- ② 大阪コミュニティ財団「都会の”すきま”にホタルの生息するビオトープで、協働のまちづくり」活動に助成申請をする。(50万円)選考結果:採択されましたが、事業中止により返金しました。この基金は「大阪信用金庫ふれあいスマイル基金」から寄せられた助成金です。

2、会員の状況報告

年度	平成25年度		
会員種別	正会員個人	正会員団体	協力会員
会員数	14人	1社	11人

なお、賛助会員(個人・団体)、特別会員(個人・団体)はありません。

3、会務の状況報告

(1) 総会

名称	開催日	議事案件
第5回通常総会	25.6.16 (日)10時 15分 熊取町煉瓦館支援室 I	・平成24年度事業活動報告並びに活動計算書の承認の件 ・平成25年度事業活動計画案並びに活動予算案の承認の件 以上議案は原案のとおり異議なく承認されました。 正会員総数18名、出席者数13名(内委任状出席者9名) 定款24条の過半数の出席を得て適法に成立。

(2) 理事会

名称	開催日	議事案件
第1回理事会	25.5.28 (火) 煉瓦館	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度の活動決算書の承認の件 平成25年度事業活動計画並びに活動予算案の承認の件 以上の案件と事業活動報告を通常総会に提出することの承認を求める件 ホテル観賞の夕べの開催について
第2回理事会	25.7.23 (火) 煉瓦館	<ul style="list-style-type: none"> 住民協働提案事業『星空キャンプ秘密の基地づくり』の申請を行うことについて 河川のクリーンアップ和田川の清掃の実施について 設立5周年の記念行事(昼食会)を行うことについて
第3回理事会	25.10.29 (火) 煉瓦館	<ul style="list-style-type: none"> 大阪福島区の「ほたるまちプロジェクト」の費用弁償の裁判を大阪簡易裁判所に提訴することについて 和田川クリーンアップの日程(雨天順延)について 助成金の申請(河川財団、日本河川協会など)を行うことについて
第4回理事会	26.1.21 (火) 煉瓦館	<ul style="list-style-type: none"> 助成金の申請の件日本河川協会/セブンイレブン 設立5周年記念行事(昼食会)をプードルで行うことについて 第6回通常総会の開催日時について 次回以降の理事会の開催予定について

4、事業の実施状況報告

(1) まちづくりトークカフェ

名称	開催日	内容
第43回トークカフェ	25.6.9(日)19:00～ 煉瓦館支	ホテル観賞の夕べ エレクトーンコンサート 演奏 松本 祐樹氏
第44回トークカフェ	25.9.22(日)10:00～ 煉瓦館	講演『泉州の昔話と紙芝居』 『ひょうすべクラブ・やまどりクラブ』 阿部栄子さん他10名のみなさま
第45回トークカフェ	26.3.22(土)13:00～ 煉瓦館	NPO設立5周年を祝う会 レストラン「プードル」にて昼食会 ヴァイオリン 演奏 菊本恭子さん

(2) 会報『カッパだより』の発行

第15号	25.9.1	桜とホテルと歴史のまちへ 向田橋のbefore&after コラム;Building back the better(過去より良くすること) 和田川のゴミ清掃ボランティア募集(10/20)など
第16号	26.1.1	TOPICS;助成金の申請は日本河川協会とセブンイレブン記念財団、和田川のクリーンアップごみ清掃報告など 自宅でビオトープ;ホテル編、ゲンジボタルの産卵(2) コラム;「行動経済学」現在バイアスについて
第17号	26.5.1 (予定)	通常総会開催(6/22)のお知らせ、TOPICS;セブンイレブン清掃助成と住友ゴムCSR基金助成の採択、3/22(土)設立5周年を祝う会、流域治水を担う地域円卓会議の提案、自宅でビオトープ;ゲンジボタルの上陸開始、コラム;「シテイプロモーション」

(3)和田川にFFCエースを投入して水質浄化とカワニナの増殖の社会実験を続けています。

回	実施日	特記事項
第15回	25.3.21	和田川の清水橋下にFFCエース10kg投入する
第16回	25.7.1	和田川の地点⑥にFFCエース10kg投入する
第17回	25.8.3	和田川の祇園橋の下にFFCエース10kg投入する
第18回	26.4.9	和田川の地点⑥にFFCエース15kg投入する

(4)アドプトリバー向田(くまとり)の美化活動を行いました。(大阪府と協定書を締結しています)

回	実施日	特記事項
第11回	25.5.1～ 5.3	草刈作業 住吉川沿いの両岸
第12回	25.12.19	草刈作業 住吉川沿いの両岸(シルバー人材)

第1号議案 II 平成25年度 活動計算報告

貸借対照表

NPO法人まちづくりネット熊取

2013年 3月31日現在

(単位:円)

<u>資産の部</u>		
【流動資産】		
現金・預金	48,295	
未収入金	0	
流動資産合計		48,295
【固定資産】		
【有形固定資産】		
工具器具備品	186,980	
有形固定資産合計	186,980	
【無形固定資産】		
電話加入権	10,300	
無形固定資産合計	10,300	
固定資産合計		197,280
資産の部合計		245,575
		<u>負債の部</u>
【流動負債】		
短期借入金	1,725,784	
未払金	2,020,324	
預り金	293,033	
前受金	57,000	
流動負債合計		4,096,141
負債の部合計		4,096,141
		<u>資本の部</u>
【正味財産額】		
当期正味財産額	-3,850,566	
(内当期正味財産増減額)	-69,829	
次期繰越正味財産額		-3,850,566
資本の部合計		-3,850,566
負債・資本合計		245,575

活動計算書

NPO法人まちづくりネット熊取

自 2013年 4月 1日 至 2014年 3月31日

(単位:円)

経常損益の部

【経常損益の部】 【経常収益】 【経常収益】 正会員受取会費 協力会員受取会費 受取寄付金(助成と寄付) 経常収益合計	170,000 24,000 502,000 _____ 696,000	
【経常費用】 【事業費及び管理費】 事業費及び管理費合計 経常収支差額	_____ 765,855 *注記 _____ -69,855	
【その他収入】 【その他収入】 受取利息 雑収入 その他収入合計 【その他費用】 雑損失 その他費用合計 当期正味財産増減額 当期正味財産増減額 前期正味財産増減額 次期繰越正味財産額	26 0 _____ 26 _____ 0 _____ -69,829 _____ -69,829 _____ -3,780,737 _____ -3,850,566	

事業費の内訳は次の通りです。

1. トークカフェ費 30,554円
 2. 住吉川委 78,994円
 3. 会報費 76,800円
 4. 水辺の整備費 41,491円
 5. FFC事業費 105,525円
- 合 計 333,364円

*注記 事業費及び管理費内訳書

NPO法人まちづくりネット熊取
自 2013年 4月 1日 至 2014年 3月31日

法定福利費	41,040	(単位:円)
印刷費	40,945	
会議費	0	
旅費交通費	106,600	
通信費	201,204	
支払手数料	2,650	
事務用消耗品費	6,972	
新聞図書費	0	
諸会費	22,200	
雑費	10,880	
事業費	333,364	
事業費及び管理費合計	765,855	

財産目録

(平成26年3月31日現在)

(単位:円)

摘要	金額
I 資産の部	
1.流動資産	
現金	2,277
池田泉州銀行熊取支店普通預金	10,134
ゆうちょ銀行418支店普通預金	19,324
郵便振替	16,560
<u>流動資産合計</u>	<u>48,295</u>
2.固定資産	
有形固定資産	
工具器具備品	186,980
無形固定資産	
電話加入権	10,300
<u>固定資産合計</u>	<u>197,280</u>
<u>資産合計</u>	<u>245,575</u>
II 負債の部	
1.流動負債	
短期借入金	1,725,784
未払金	2,020,324
預り金	293,033
前受金	57,000
<u>流動負債合計</u>	<u>4,096,141</u>
<u>負債合計</u>	<u>4,096,141</u>
<u>次期繰越正味財産額</u>	<u>-3,850,566</u>

監査報告書

平成26年5月29日

NPO法人まちづくりネット熊取
理事長 杉野隆一様

NPO法人まちづくりネット熊取
監事 田中幸司

私は、去る5月23日、NPO法人まちづくりネット熊取の平成25年度における会計並びに業務の監査を行いました。以下のとおり報告します。

1、監査の結果

(1) NPO法人まちづくりネット熊取の平成25年度の財務諸表は、一般に公正妥当と認められるNPO法人の会計基準に準拠しており、収支の状況、財政・財産の状態を適正に表示しているものと認める。

(2) NPO法人まちづくりネット熊取の平成25年度の事業報告の内容は真実であり、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。以上